

AIDS UPDATE

No.5 1998.11.11

広島大学医学部附属病院
エイズ医療対策室
内線2941 (輸血部副部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

平成10年度 第1回広島県地对協エイズ症例検討会

広島県地域保健対策協議会HIV感染症専門委員会では、中四国エイズセンターと共催で、本年度第1回目のエイズ症例検討会を企画しました。

今回はめざましい変貌をとげるエイズの治療、その中心となる抗ウイルス剤の原理、治療の原則、患者さんごとの個別の適用などを学びたいと思います。エイズ治療のための近畿ブロック拠点病院の代表である、国立大阪病院総合内科医長の白阪琢磨先生に解説をお願いします。

ついで実際の広島の患者さん達の経過を供覧しながら討議する予定です。医療関係者・薬剤師・カウンセラー・学生など多数のご参加を歓迎します。

職業上のHIV感染の予防と 曝露事故後の対策

医学雑誌「Medical Postgraduates」(医学書房)の記事で私が書いたものです。1998年5月にアメリカのガイドラインが改訂されましたので、その概要を翻訳して記載しました。

アジア地域エイズ専門家研修一行の 広大病院訪問

来る11月24日(火)13:30-16:00に本院にアジア地域エイズ専門家研修の一行が本院を訪問研修します。この事業は厚生省が主催し、外務省・WHO・UNAIDSの協力で行われます。平成10年度は11月4日から12月11日、15カ国から17人の参加です。本院は3年前から訪問研修先として協力をしています。当日は高田医師、看護部などが本院のHIV感染者の実態報告と討議、輸血部検査室の見学を行います。

eちょっと知らないウェブ・サイト

*血液製剤に混入したHIVにより
健康被害を受けた方の救済等について*

サイト名: 医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構

URL=<http://www.ijinet.or.jp/iyakuhin-kiko/Q4.htm>

コメント

通称、医薬品機構です。事業は、(1)受託給付事業、(2)健康管理支援事業、(3)調査研究事業の3つです。いずれも友愛福祉財団からの委託事業です。日赤が供給した輸血用血液によるHIV感染者も受給の対象になります。

問い合わせ: 03-3506-9415(業務部調査役)

*HIV治療実態調査
医療格差に関する報告*

サイト名: 大阪HIV訴訟原告団

URL=<http://www.osaka.xaxon-net.or.jp/~hiv/Data2/kakusa.html>

コメント

いわゆる“薬害エイズ”原告団のサイトです。中国四国地方の患者さん達は、最も死亡率が高く、CD4+数も低いという調査結果です。背景の患者数が違いますから、有意差検定をするとどうなるかわかりませんが、問題は深刻です。私たちに身につけられた刃のような気がして、冷や汗が流れます。

<ご意見募集>g

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

「TAKATA, OE」